陣馬形山

ONSEN CAMP
四徳温泉キャンプ場

KUWABARA CAMP

Waqua合同会社

長野県上伊那郡中川村

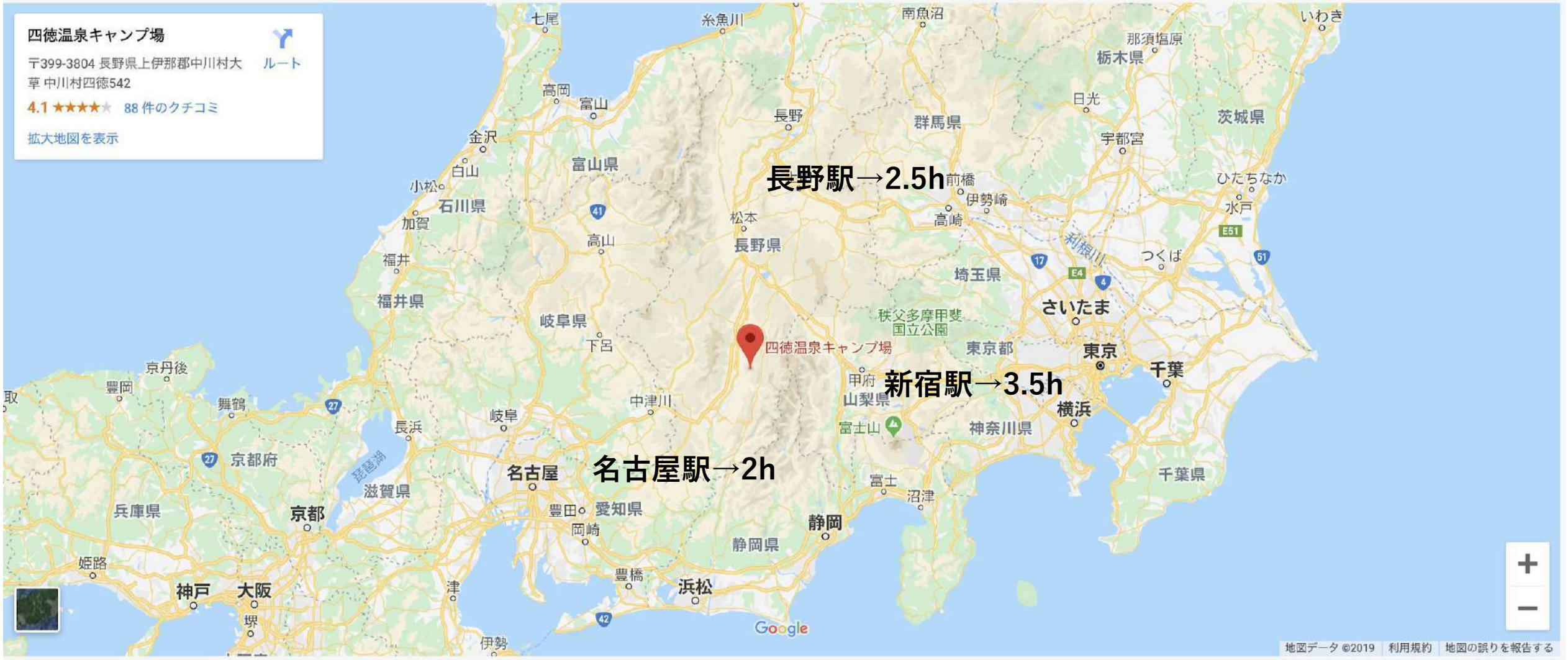
代表社員　久保田 雄大

森を活かしてシゴトを創る
ONSEN
CAMP
四徳温泉キャンプ場
生きる力を取り戻す 森の休日

Waqua合同会社

ワクワクの輪

水源地を守る


四徳温泉キャンプ場
〒399-3804 長野県上伊那郡中川村大草 中川村四徳542
4.1 ★★★★☆ 88 件のクチコミ
ルート
拡大地図を表示
長野駅→2.5h
新宿駅→3.5h
名古屋駅→2h
四徳温泉キャンプ場
七尾
糸魚川
南魚沼
いわき
那須塩原
栃木県
日光
茨城県
宇都宮
高岡
富山
長野
群馬県
金沢
富山県
白山
小松
石川県
加賀
福井
福井県
高山
松本
長野県
前橋
伊勢崎
高崎
ひたちなか
水戸
利根川
つくば
埼玉県
さいたま
秩父多摩甲斐国立公園
岐阜県
下呂
東京都
東京
千葉
甲府
山梨県
横浜
富士山
神奈川県
京丹後
豊岡
舞鶴
中津川
岐阜
長浜
琵琶湖
京都府
滋賀県
名古屋
豊田
愛知県
岡崎
富士
沼津
千葉県
兵庫県
京都
静岡
静岡県
姫路
神戸
大阪
堺
豊橋
浜松
津
伊勢
Google
地図データ ©2019
利用規約
地図の誤りを報告する

ONSEN CAMP
四徳温泉キャンプ場

陣馬形山

KUWABARA CAMP

the most beautiful villages in japan
中川村
長野県

村有キャンプ場の指定管理

陣馬形山
飯島
伊那本郷
七久保
高遠原
中川村役場
伊那田島
中川村
四徳温泉
高森山
ONSEN CAMP
四徳温泉キャンプ場
陣馬形山
KUWABARA CAMP
the most beautiful villages in japan
中川村
長野県
Google Chrome
ローカルの課題解決

久保田　雄大

1983年生まれ　飯田市出身　2012年より中川村在住

資格
日本山岳ガイド協会認定　登山ガイド（ステージⅱ）
国際環境倫理資格 Leave No Trace マスターエデュケーター

キャリア

2006-2012

Yamaha Motor Co. Ltd にてグローバルマーケティング、アフリカ地域を中心とした海外市場を担当。多地域、多分野にわたる現地市場の調査・販売戦略立案や、現地住民・政府・国連・JICAと協働した地域経済開発案件に多数携わる。また、市場責任者として売上ノルマ達成、PR、商品開発だけでなく、拠点経営、経理財務、契約、法的課題、社交・外交の全てに関わる。

2012-現在

伊那谷にUターンし、**自然 × 地域 × ツーリズム**の分野で、持続可能な地域づくり、暮らしのデザインに取り組んでいる。
主なフィールドは、ネイチャー・カルチャーガイドアクティビティ、キャンプ場経営、野外教育、環境教育、森林サービス産業など。

人材キーワード

キャンプ市場に精通し、幅広いネットワーク
県内の山岳観光の現場を知る
国際的ツーリズムの経験
国内海外の様々な地域づくりやビジネス経験
大きな視点で小さな現場や地域を大切にする思考

旅と冒険（自転車でチベット、オーストラリアを縦断、世界の辺境地域滞在、訪問国は約50カ国）

主な実績

指定管理
四徳温泉キャンプ場（中川村　2015~）
陣馬形山キャンプ場（中川村　2021~）
桑原キャンプ場（中川村　2021~）

コンサルティング
ビジネス・市民運動・公共セクターに関わった経験から、広い視野と様々な立場への配慮、バランスがとれ、かつロジカルなアウトプットが可能です。現在における様々なレイヤーの課題を解決しつつ、未来を創る利益型事業のプランニングを、地に足のついた思考から提案いたします。

過去の実績
（一社）長野県観光機構「インバウンドガイド育成事業」講師
飯田市遠山郷観光協会「南アルプス登山案内所実証実験」
天龍村和知野川キャンプ場　　沖縄県キャンプ共同事業組合　etc..

得意な分野
プランニング　事業を通じた地域・社会の課題解決やサステナビリティ達成　／　スタートアップ事業戦略（市場調査、マーケティング、ブランド戦略、コアバリュー策定、ビジネスプロモーション、経営健全化）
ファシリテーション　課題の掘り起こし、整理、共有
事業実装　お客さんも働く人も「好きになる」場所づくり

Waqua合同会社

2020年 2月　設立

代表社員　久保田雄大

所在地：長野県中川村

資本金：500万円

事業概要

アウトドア事業
・キャンプ場運営
・アクティビティツアー開発/運営
・プロ人材育成

環境事業
・環境教育プログラム開発/運営
・公立小中学校への環境教育出前講座

森林価値創造事業
・林業事業（民有林の伐採、集材、薪作り）
・建築事業（地域材を活かした建築）

15000人のキャンパー

キャンプという消費行動の中で生まれる森への意識

地域の森を活用していくこと（ローカル/ エシカル消費）

環境に負荷をかけない行動（Leave No Trace）

100組の家族

キャンプ場の会員制度「むらびと」

森を母とし、森に集うコミュニティ

キャンプ場主催の自然楽校・イベント・むらびと祭り
森の恵みを分かち合う　ローカルで生きる人々に出会う　森と私たちの命のつながりを実感する

GOLDEN GOALS

ひとつの森と、仲間と関わりながら、子ども時代を過ごす、ということ。

日本の自然について考える人を育てる　　田舎に住む、自然と関わった仕事をする、という選択肢を知る

5000人の村

公教育での授業

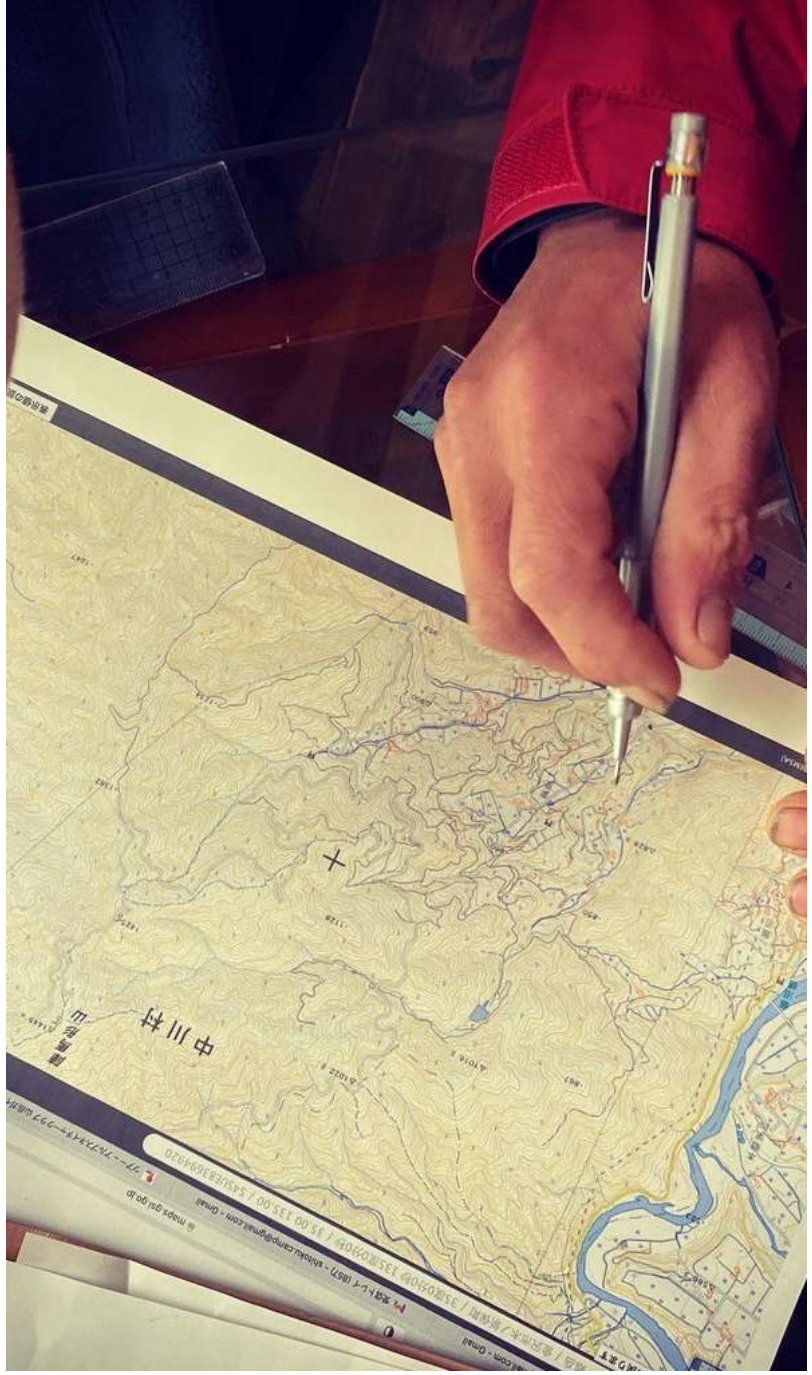
サマーキャンプ事業

森というフィールドを使った人材育成（野外教育）／　森の恵みを受けて暮らしが成り立っている（環境教育）

地元の自然と遊んで、愛着を持つ（ふるさと教育）／　地元の自然を活かして仕事を創る（キャリア教育）

15人のチーム

森を活かす人材育成


中川村

それぞれの「夢や想いは現実になる」

「根を張り、文化を創る仕事」　組織はいつかなくなっても、地域に人材が残り、やがて文化となっていく

コンセプト

事業テーマ

【森を活かしてシゴトを創る】

キャンプ場を核として
・森林空間、資源を様々な形で活用
・個の「ワクワク」から事業化
・事業の核となる人材を育成

ミッション

【持続可能性へのローカルアクション】

・水源森林の保全
・子どもたちへの野外教育
・２つの価値を共有できるコミュニティづくりと、実現できる人材の育成

施設コンセプト

【生きる力が湧いてくる森の休日】

３要素
・温泉浴と森林浴
・身体を動かす
・心がワクワクする

フォーカスするニーズ

【人間らしさの回復（人間の原点を思い出す）】

・個人　＝　火
・家族　＝　火と食と団欒
・コミュニティ　＝　自然の中での共同作業

全てにおいて、できるだけこの場の自然の循環の中で行えるよう設定していく。

成果

事業規模

四徳温泉キャンプ場単体

2015年→2019年　５年間の成果

事業規模は８倍に

売上金額　　400万　→　3200万

集客人数　1200人　→　9000人

年間雇用　　0.x人　→　社員4人

地域へのインパクト

薪の販売量（生産量）

2015年　→　2021年
10立法メートル　→　120立法メートルに
50％を自伐、50％を中川村の木の駅から調達

森林の６次産業化

森を活かし様々な地域内事業者と提携

野外教育の人材育成

有資格者　現在8名在籍

一緒に働く
仲間を募集してます